



力を合わせ炎と向き合う たたら体験学習

暑さに負けず懸命に作業に取り組む生徒たち（砂鉄を装入する様子）

8月2日、3日の2日間、大呂の鳥上木炭銑工場（日刀保たたら）で、横田中学校の生徒64人が「たたら体験学習」を行いました。

1日目は、2基の炉づくりや炭切り、砂鉄の調合など操業の準備を行いました。

2日目は、4人の村下を中心、吹子を使い炉内に空気を送り、温度を測定しながら、約10分間隔で二つの炉に175^{kg}の砂鉄と280^{kg}の木炭を装入しました。

午後3時からそれぞれの炉を解体し、日本刀の原料となる玉鋼を含んだ赤々としたケラ（鉄の塊）約50^{kg}を熱暑の中、揮身の力をふりしぼって取り出すと、大きな歓声があり、生徒たちはみんなでやり遂げた達成感に満ち溢れていました。

生徒たちは、名誉町民で国選定保存技術保持者の木原明さんや村下養成員から丁寧な指導を受けながら、懸命に作業に取り組みました。

参加した生徒からは「みんなで力を合わせ、立派なケラが取り出された。協力し合うことの大切さがわかった。暑かったがとてもよい経験になった」と感想がありました。

郷土の誇る伝統技術を体験したこの学習の成果は、秋の横田中学校文化祭やふるさと教育フェスティバルで発表されます。

わたしたちの町

人口	14,886人
男	7,164人
女	7,722人
世帯数	4,953世帯

8月1日現在